

種智院大学 臨床密教センター主催

第1回 臨床宗教師養成講座 募集要項

種智院大学臨床密教センターでは2016年5月より、臨床宗教師養成講座を実施します。臨床宗教師とは、広い宗教性に基づきつつ公共空間において超宗派・超宗教的な立場からの人々の「心のケア」を実践する宗教者のことです。

本講座ではセンターの設立理念である密教、そして宗祖弘法大師空海の教えに基づきつつ、真言宗僧侶として他宗教・他宗派の宗教者と共に公共空間で活動できる臨床宗教師の養成を目指します。

本講座の特徴

- 受講者を「真言宗僧侶」に限定することで、密教そして空海の教えをどのようにして現代社会の問題に活かし、活動してゆく事ができるか？ その可能性を追求します。
- 短期集中型のカリキュラム編成によって、檀務に忙しい方でも受講することができます。
- 天理教の施設をお借りして合宿形式で講座を行うことによって、他宗教の教義・世界観を肌で体感します。
- 医療現場で活動されている方を講師にお招きし、現場で必要とされる宗教者の在り方を学びます。
- 研修終了後は日本臨床宗教師会及び各地の臨床宗教師会に入会することができ、各会主催のフォローアップ研修に参加し、更なる研鑽を積むことができます。

申込締切 2016年4月9日必着



種智院大学

臨床密教センター

募集要項

募集人数	10名程度 ※応募者多数の場合、年齢・性別・地域のバランスを総合的に判断し決定します。
対象者	真言宗の僧籍を有する者(既灌頂の者)
申込締切	2016年4月9日(土)必着
受講料	10万円 ※全体会中の食費・宿泊費および医療福祉施設での実習費(合計10000円程度)は別途徴収。 実習先への交通費・宿泊費は自己負担。

申込方法

指定の申込用紙に必要事項を記入し、下記のレポートを添えて郵便で送付してください。

【提出書類】

1. 指定の申込用紙
2. 参加動機

これまで/これからの自分自身の「臨床宗教師」としての活動をふまえて、今回の研修に参加する動機や、研修で特に学びたいこと、希望する実習先を選択した理由について1000字程度にまとめる。

3. 生育歴

出生から現在に至るまで、自分の人生に影響を与えた出来事について、その時の思いを含めて5000字程度で記述する。さらに、記述して気づいたことや感想を1600字程度にまとめ、1600字程度のレポートだけを提出する。(5000字程度のレポートは研修が終わるまで自分で保管する。)

4. 信仰歴

自分自身の人生観、死生観、他宗教との関わり、影響を受けた人物や書物などを踏まえて、“信仰者となり、さらに現在の「信徒の相談に応じる立場」になった経緯、その立場における相談の概要・方法”について、プライバシーに配慮しながら具体的な出来事を含めて2000字程度にまとめる。

5. 活動計画

これまでの社会活動を踏まえて、研修修了後の臨床宗教師としての活動計画について、できるだけ具体的に1000字程度にまとめる。

全体会 日程

全体会1	2016年5月9日(月)～11日(水)
全体会2	2016年6月7日(火)～8日(水)
全体会3	2016年7月13日(水)～14日(木)

※各全体会(合宿形式)の合間に、医療福祉施設などでの分散実習(合計4日間)を行います。

全体会 会場

天理教浪華分教会信者詰所(奈良県天理市田部町230-1)

カリキュラム

[講義科目]

臨床宗教師の理念	臨床宗教師を提唱するに至った経緯、社会的背景、将来像について学びます。
臨床宗教師の倫理	「臨床宗教師倫理規定」に基づいて、臨床宗教師に求められる基本的な態度、及び禁止事項について学びます。
公共性の確保	宗教者が公共性を確保するために必要な知識と知恵について、実例に則して学びます。
スピリチュアルケア	ホスピス運動とともに注目されるようになったスピリチュアルケアについて、その方法と基本姿勢を理解します。
グリーフケア	喪失体験による悲嘆(グリーフ)とそのケアについて、宗教との関連を中心に学びます。
民間信仰論	地域社会における共同体やその成員の宗教文化の基層をなす民間信仰と、現代社会における宗教者の位置について学びます。
宗教間対話	他の宗教者と協働するための思想や行動について学びます。
宗教的ケア	スピリチュアルケアと宗教的ケアの相違と共通点について、具体的な方法を交えて確認した上で、宗教的ケアの特徴を理解します。
在宅緩和ケア	がん発症から、治療、緩和ケアまでのプロセスを踏まえて、在宅ケアの目的・ケア方法、訪問先での留意事項について学びます。
臨床密教学	真言密教の教理を再確認し、弘法大師の教えを現代においてどのような形で生かせるかを考えます。
仏教福祉	日本における仏教福祉の歴史的展開について学びます。

その他

[グループワーク]

日常儀礼	真言宗および天理教の日常的な儀礼を実施し、研修生全員で共有します。毎日朝晩に実施して一日の区切りとします。
研修振り返り	全体会での学びを中心に、自分自身の課題を明らかにします。
傾聴	話す・聴く・観るの3人組のワークにより、傾聴についての基本姿勢を学びます。
ロールプレイ	人々が悲嘆している時、死についての苦悩、「霊的現象」についての相談などでの対応(対話や儀礼)を、ロールプレイ(役割演技)で実演します。
会話記録	特に印象に残ったケースについて会話記録を作成し、読み合わせによって現場での経験を共有し、相互に学びます。

カリキュラム

【実習科目】

現場実習 各自計4日間(1日8時間)の医療機関での現場実習を行います。

実習先

小笠原内科(岐阜県岐阜市)

医療法人聖徳会が運営するクリニックと訪問看護ステーション・介護支援サービスによる在宅緩和ケアを行う。緩和ケアも実施。独居の看取りにも傾注しているので、ボランティア多数登録。

西栄寺訪問介護福祉事業 お寺の介護 はいにこぼん(大阪府大阪市)

「宗教法人としての訪問介護事業」を行う。サービス管理者の吉田敬一師は、第1回臨床宗教師研修修了者。

ささえ愛よろずクリニック(新潟県新潟市)

医療法人社団ささえ愛よろずが運営する内科・心療内科・精神科クリニックを中心に、高齢者住宅、デイサービス、ショートステイ、訪問看護、訪問介護、在宅終末期ケアを行う。宗教者が定期的に患者のケアに関する活動をしている。

松阪市民病院緩和ケア病棟(三重県松阪市)

松阪市が運営する市民病院内にある院内独立型の緩和ケア病棟。臨床宗教師が活動している。

長岡西病院ビハーラ病棟(新潟県長岡市)

医療法人崇徳会が運営する仏教系緩和ケア病棟。病棟内に仏堂があり、朝夕に読経の時間がある。常勤ビハーラ僧の他に、十数名の地元の僧侶がボランティアとして関わる(超宗派)。

沼口医院(岐阜県大垣市)

医療法人徳養会が運営するクリニックと、訪問看護ステーション・アミターユスにより、在宅緩和ケアを行う。臨床宗教師が常駐している。

宗教体験 天理教の儀礼に参加させていただく予定です。

主な研修担当者

谷山 洋三

たにやま ようぞう

東北大学大学院文学研究科准教授、「心の相談室」理事、日本スピリチュアルケア学会評議員、仏教看護・ビハーラ学会理事、元・長岡西病院ビハーラ僧。

打本 弘祐

うちもと こうゆう

龍谷大学文学部専任講師、元・あそかビハーラクリニック・ビハーラ専門僧。

松本 峰哲

まつもと みねのり

種智院大学教授。種智院大学臨床密教センター センター長。東北大学大学院実践寄付講座第6期臨床宗教師研修修了者。

問い合わせ・申し込み先

種智院大学 臨床密教センター

〒612-8156 京都市伏見区向島西定請 70 番地

Email rinmitsu@shuchiin.ac.jp TEL&FAX 075-604-5743

※お問い合わせはEメールもしくはファックスをお願いします。原則として火曜・木曜に事務補佐員が在室



種智院大学

臨床密教センター